

第4章 記号類の使い方

その1 句読符

1. p98 1. 句点

メール文などでは、句点や読点が複数並んでいる場合があります。そのまま続けて書いてよいのでしょうか。

【A】

句点や読点は複数重ねて用いることはできませんので、「。。。。。」「,,,,,,」となっても、一つだけ書きます。ただ、これらが点線の意味で用いられている例も見受けられますので、その場合は、文意を考えて、適宜点線に代えるなどします。

2. p98 1. 句点

サイト名で使われる「。」の扱いについてお尋ねします。「僕の見た秩序。」というサイトがありますが、「モーニング娘。」と同じように、これを表記するとき「。」は抜くのでしょうか。「。」を書く場合「僕の見た秩序。は走り続ける」という文章は、「。」の後ろ二マスあけになるのでしょうか。

【A】

この場合も、「。」は、原則として省略して書いてよいと思います。そして必要な場合は点訳挿入符で句点が付いていることを説明します。

これを省略しないで書く場合、感嘆符や疑問符と異なり、句点には文中の語句に付けるという用法はありませんので、後ろを一マスあけで書くことはできません。しかし、この場合明らかに文の終わりではありませんから、二マスあけることもできません。もし、この「。」をどうしても書かなければならない場合は、全体を第2カギなどで囲んではどうでしょうか。第2カギを《 》で表してみると、「《ボクノ■ミタ■チツジョ。》ワ■ハシリツヅケル」となります。

3. p99 1. 句点 【処理2】

【処理2】に、Jr. の後ろに第1つなぎ符を用いる例がありますが、「E.T. たち」のような場合も、このように書くと理解してよいのでしょうか。

【A】

外文字を用いた語句の最後がピリオドで、その後ろに「たち」などの一続きに書く語がきた場合は、第1つなぎ符を用いて書きます。ただ、一般文章中では、一つの略称の中に使われる省略符としてのピリオドは省略することができます(「てびき」p44【備考4】)ので、まずはピリオドを省略して書くのがよいと思います。

4. p100 2. 疑問符 感嘆符 [参考]

疑問符・感嘆符が囲み記号もなく単独で使われている場合、カッコで囲み（ギモンフ）、（カンタンフ）と書く例があります。

???や !!!のように囲み記号がなく複数の疑問符・感嘆符が書かれている場合は、次のような処理の仕方でのよいでしょうか。

①第1 カッコを使う （ギモンフ■ギモンフ■ギモンフ）

②点訳挿入符を使う 点挿カンタンフ■ミッツ点挿

【A】

はい、①か②の処理をしてください。

5. p100 2. 疑問符 感嘆符 [参考]

「シャインオン！キッズ」という団体名がありますが、この場合の感嘆符の後ろのマスあけはどうなりますか？

「そんなことができるのか？きみ」、「それいけ！アンパンマン」、これらの感嘆符や疑問符の後ろはどうでしょうか？

【A】

「シャイン■オン！■キッズ」は、組織名ですので、一マスあけでよいと思います。この組織は感嘆符を付ける場合も、付けない場合もあるようです。「シャインオン！」で文が終わっているわけではありませぬので、二マスあけるのは不自然だと思います。

タイトル名にはいろいろなものがあり、文の場合もあります。「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」など、感嘆符の後は二マスあけになります。「それ行け！アンパンマン」も「それ行け！」は文ですので、二マスあけます。「そんなことができるのか？きみ」も疑問符の後ろ二マスあけでよいと思います。「てびき」 p100 2. [参考] を参照してください。

6. p100 2. 疑問符 感嘆符 [参考]

「なんでここにいるの？ ていうか、なんで車なの」

「大丈夫？ って、何度も聞いたよ」

上記の疑問符の後ろのマスあけはどうでしょうか。

【A】

上の例は後ろに、「ていうか」がありますが、これは、今の若者の話し言葉として接続詞的に使用されていると思われますので、前の「～いるの？」で文が終わり、「ていうか、～」で新たな文が始まったと取るのが妥当ではないかと思います。「なんで■ここに■いるの？ ■■て■いうか、 ■なんで■車なの」

下の例は、後ろに「って、」が続き、文の途中だと思います。ですから「大丈夫？
■って、■何度も■聞いたよ」

7. p101 4. 中点

Dos攻撃 (Denial of Service attack・ドス攻撃)
のように、カッコの中に英語と日本語訳が中点で並んで書かれている場合の中点は、
どうしたらよいのでしょうか。

【A】

用法としては、二つの語句が並記されていますので、中点を使用してよいと思います。
ただ、外国語引用符と並びますので、読みやすさを考慮して、中点を省略して
二マスあけにするという書き方をしてもよいでしょう。

8. p102 4. 中点 (2)

法人名に含まれる中点について質問させていただきます。原本情報の点訳に際して、
法人名に中点が含まれるものがありました。同法人について国税庁の法人番号
公表サイトで確認すると、商号又は名称に中点が含まれていることから、商号登記
の時点で中点が含まれていると考えられます。

こういった場合の中点は

- ・「固有名詞の表記の一部」と考えて書く
 - ・「誤読を避けるためや語句の切れ目を明らかにするために用いられている中点」(て
びきp102) と考えて省略する
- のいずれの方が適切でしょうか。

【A】

固有名詞であっても、中点の規則に従って点訳します。

「小林青果物仲卸・小売商店」のように並列で用いられている場合は中点を用いま
すが、「アット・ホーム株式会社」のように語句の切れ目に用いられていれば、その
中点は省略して点訳します。そこに中点があることを知らせる必要がある場合には、
中点を省略して点訳した上で、点訳挿入符で、(墨字表記では〇〇と〇〇の間に中点
がある) と断るか、中点を入れて点訳して、点訳挿入符で(中点は原文通り) と断
るか、いずれかの方法をとればよいと思います。

9. p103 4. 中点 (2) ③

「クラシ■ノート」「ホット■ジョーホー」の例のように、墨字に1字ずつ中点が
入っていても続けて書くのは、長音・促音を単独で使えないからと理解してよいで
しょうか？

【A】

おっしゃる通り、長音は前の音を伸ばすことを表しますし、促音は前後の音との関係で発音されるつまる音ですので、前後の文字と切り離すのは問題があります。また点字の形も、促音は②の点一つで、前後の語と間をあけてぽつんと書かれると、何の点かも読み取りにくくなります。この場合、区切って発音するわけでもなく、文字を際立たせるなどの意図によるものと思われるので、一マスずつマスあける方法は不適切です。

10. p103・p104 4. 中点 (2)

p103「執筆者・鈴木一雄氏」の一マスあけと、p104「文・佐々木利明」《表題紙》の二マスあけ、p123「講師：阿部一氏」の二マスあけの使い分けの違いは为什么呢？

【A】

中点やコロンの前の語が見出し項目的な役割を果たしている場合は、二マスあけるか、棒線・小見出し符（カッコ内のコロンなど、文の途中にある場合は小見出し符を用いられませんが）などを用いるのが分かりやすく、表題紙の例も、同様の考え方で二マスあけをするのが一般的です。「執筆者・鈴木一雄氏」も同様の場面では二マスあけしますが、(2)②では文中に出てくる用例をあげています。文中にある場合は一マスあけの方がスムーズに読めることが多く、とくに「執筆者・〇〇 編集者・××」のように並列される場合、中点の箇所を二マスあけると、前後のかたまりとの切れ目が分かりにくくなることもありますので、原則として一マスあけにします。

その2 囲みの記号

1. p104 1. カギ類 (1)

第3版にあった「第2カギは“～”・＜～＞などに対応させる」という記述がなくなりました。

①原本で使われている“～”・＜～＞をあえて第1カギを用いて書くことはありますか。それは具体的にどのような場合でしょうか。『てびき』には、そのような用例が見当たりません。

②例えば、p111【処理】の用例“wine”と“酒”のコーテーションマークを第2カギを使わずに第1カギに置き換えることはできますか。

③原文で強意・強調のため“～”または＜～＞で囲まれた言葉があります。

・原文中に「～」が使われておらず、“～”または＜～＞のみが使われていた場合は、“～”または＜～＞をすべて第1カギに置き換える。

・原文中に「～」が使われていて、さらに“～”や＜～＞が使われている場合は、これらのカギ類を第1カギ・第2カギ・ふたえカギのいずれかで使い分けるということでしょうか。

④『てびき』の「第1カギ・ふたえカギと区別して他のカギを必要とする場合に、第2カギを用いる」の部分を「原本で“～”・＜～＞などが使われている場合は、第1カギ・ふたえカギと区別して他のカギを必要とする場合」と考えてよいでしょうか。逆に区別する必要がないときは、“～”や＜～＞が使われていても、第1カギを用いるということなのでしょうか。

⑤実際に点訳を進めていくと複数のカギ類が混在し、特に強意・強調のための墨字のカギ類“～”・＜～＞はその処理が複雑になってきます。講習会受講生に第2カギの用法を説明するときに、混乱を与えないためのキーポイント（キーワード）はありますか。

【A】

④ ⑤ 点字のカギ類は、墨字のカギ類より数が少ないですから、墨字のこの記号には点字のこの記号と1対1では考えないようにした方がよいと思います。ですから、墨字の「～」、『～』、“～”、＜～＞、に点字のどの記号を対応させるのかを最初に考えるのではなく、墨字の形にとらわれず、点字では

(1) 基本的に第1カギを用いる。

(2) カギの中に更にカギが必要なときには、基本的にふたえカギを用いる。

(3) それ以外のカギが必要なときは、第2カギを用いる。第2カギは、地の文にも、カギの中にも用いることができる。

という点を押さえればよいのではないのでしょうか。

ただ、「てびき」では、墨字の「～」は、墨字でも基本的に用いられるカギなので、ほぼ第1カギ、墨字の『～』はカギ類の中に用いることが多いので、ほぼふたえカギを対応させる。としています。

① 会話文などをすべて“～”で囲んで書いてある場合は、そこに第1カギを用いてよいと思います。資料類などで、カギ類が＜～＞だけしかない場合は、第1カギを用います。

② 置き換えることができます。

③ 上に書きましたように、原文中に「～」が使われていなければ、“～”＜～＞などに第1カギを用いてよいと思います。原文中で、“～”が会話に、＜～＞が語の強調に用いられていれば、“～”に第1カギ、＜～＞に第2カギを用いることになると思います。

原文中に「～」が使われていて、さらに“～”や＜～＞が使用されている場合は、地の文に用いる場合は第2カギかまたは第1カギ、“～”や＜～＞がカギの中に用いられている場合は、第2カギかふたえカギになります。

2. p104 1. カギ類 (3) (4)

一つの文中であるかどうかの判断の仕方と、並列したカギ類の間のマスあけについてお尋ねします。

文頭に主語等がないと、一文中かどうかの判断に迷います。

① 「あなたはどこからきたの」「教えて！遠い国から？」「これからどこへいくの」と、それぞれが思い思いに問いかけた。

＊複数の人の会話を「と」で受けている場合。「～」の並列の後、「と」で受けている場合は、複数の人の発言であっても一つの文と考え、閉じカギと開きカギの間は一マスあけと考えてよいでしょうか。

② 「あなたはどこからきたの」「教えて！遠い国から？」「これからどこへいくの」と、問いかけた。

＊一人の発言の並列。「と」で受けている場合（第4版のような「やつぎばやに」の語句はない）。一人の発言で「～」はそれぞれ独立した文だが、「と」で受けているので、最初から最後までが一つの文と考え、閉じカギと開きカギの間は一マスあけと考えてもよいでしょうか。

③ 「あなたはどこからきたの」「教えて！遠い国から？」「これからどこへいくの」それぞれが思い思いに問いかけた。

④ 「あなたはどこからきたの」「教えて！遠い国から？」「これからどこへいくの」やつぎばやに問いかけた。

＊複数人あるいは一人の発言の並列。いずれも「と」で受けていない場合。複数人・一人の発言であっても「～」はそれぞれ独立した文。カギを閉じた後に新しい文が始まると考え、すべて二マスあけ（従来通り）。

一人あるいは複数人の会話であることは、一つの文であるかどうかの判断に影響しますか。

【A】

一人の発話か複数の人の会話かは、一つの文かどうかの判断には影響しません。

一つの文の中に、いくつかのカギで囲まれた語句や文が含まれる場合にその間が一マスあけになります。

カギで囲まれた部分の前に主語があったり、後ろを助詞・助動詞で受けていれば分かりやすいのですが、そうでない場合に判断に迷うことがあるかもしれません。

①②は、全体が一つの文ですから、閉じカギと開きカギの間を一マスあけます。

③④は、閉じカギと開きカギの間も、最後の閉じカギの後ろも二マスあけになります。④の場合は、「やつぎばや」の直前に主語が省略されていると考えてよいと思います。

3. p104 1. カギ類 (3) (4)

次のような場合、閉じカギの後ろのマスあけはどうなりますか。

①地の文の途中、カギで囲んだ文の閉じカギの後に「と」などの助詞がない場合

a. 批判もたくさんあったが、「感動した」「明日から頑張ろうと思えた」そんな書き込みが増えていた。

b. 麻衣子は手を組んで、「がんばれ、がんばれ」心の中で叫び、祈った。

②カギで囲んだ会話文の途中に地の文が挿入されている場合

c. 「最初、かけてくる方は」六十代の男性がいう。「相談することがなければいけないと思ってかけてくるから、介護のこととか、病気のこととか、何か質問を用意するんです」

【A】

b. は「がんばれ、がんばれ」の後ろに「と」があるのが自然な形で、あきらかに一つの文ですので、

麻衣子は、「がんばれ、がんばれ」■心の中で叫び、祈った。
と一マスあけになります。

a. は、

批判もたくさんあったが、《「感動した」「明日から頑張ろうと思えた」》そんな書き込みが増えていた。

と、「そんな」が前の《～》をまとめて受けていて、後ろだけでも独立した文の形になっています。ですので、「そんな」の前を二マスあけた方がよいと思います。

閉じカギの後、開きカギがくる場合は、カギがあるので文と文の間でも一マスあけでいいのですが、閉じカギで文が終わっている場合は、後ろを二マスあけるのが自然です。

「感動した」■「明日から頑張ろうと思えた」■■そんな書き込みが～。

c. は、閉じカギの後ろ、「六十代の男性がいう。」と文になっていますので、

「最初、かけてくる方は」■■六十代の男性がいう。

「4版」で p104 (3)のように規則を変更したのは、文の中に、文がある（重文、複文）ことも多いが、閉じカギと開きカギの間であれば、一マスあけでも読むのに支障がないと判断したからです。閉じカギの後ろに、助詞等がなく、後ろに文が始まっている場合は、二マスあけることになると思います。

4. p104～105 1. カギ類 (3) (4)

カギ類が続いたときのマスあけについて、伺います。カギ類が並んだ後に句点がある場合、カギ類の間は、それは1文として、一マスあけか、2文として二マスあけか、どちらでしょうか。

例：

(1)

「少年の面影を残しているけれど、本の選択はなかなかハードだ」「彼は今自分の中に潜む理由のない暴力と向き合っている……」(『犬のしっぽを撫でながら』)。

(2)

全国5200校の高校長が参加する協会からも、延期を求める声が上がった。「生徒は不安を募らせている」「校長も説明に苦慮している」。文部科学省に出された要望書には切実な言葉が並ぶ。

【A】

1文の中に異なった要素(語句や文)が並んでいる場合、基本は「てびき」p152 6.(2)に従い二マスあけになります。

しかし、それぞれがカギで囲んであれば、一マスでも誤読されないという判断からくる、いわば機械的な処理です。

ですので、カギで囲まれた文が並んでいて、その最後の閉じカギの直後に句点があれば、そこまでを一文と判断して、一マスあけにしてよいと思います。

ご質問の二つの例はいずれも一マスあけになります。

5. p105 1. カギ類

用例「ぼくは、はっきり『いやだ。』と言ったよ。」が、仮に原文で『ぼくは、はっきり「いやだ。」と言ったよ。』となっている場合も、外側のカギを第1カギ、内側のカギをふたえカギにするのでしょうか。

【A】

基本的にはそうなります。ただ、そこだけ機械的に、外側のカギと中のカギを入れ替えると不自然な場合もあると思いますので、原本全体の囲みの記号の使い方を検討した上で判断する必要があります。

6. p106 1. カギ類 【備考】

書名などが『～』で囲まれている場合は 墨字原本で『～』が使われている場合と解釈してもいいですか。

【A】

p106【備考】の「など」は、「書名に限定せず、作品名や映画のタイトルなどまで」ということを指しています。そのほかの文や語句まで広げているわけではありません。

7. p106 1. カギ類 【備考】

一般に、初出・著者紹介などでは、＜シリーズ名＞『書名』『作品名』と囲み記号で区別していることが多いようです。本文等で、それぞれが違う形の囲み記号を使われていても、シリーズ名は第2カギ・書名はふたえカギ・作品名は第1カギと統一して考えてよいでしょうか。

【A】

統一するという考え方もあると思いますが、原文と大きく異なった書き方をする場合は、書き方を点訳書凡例などで説明すればよいと思います。

8. p106 2. カッコ類

彼は動揺していた。(1984年(私は)それを届けるかどうか迷っていたのだが)

上記の文章のように、第1カッコの中の開きカッコの前をマスあけする場合、マスあけが生じることで、閉じカッコと誤読のおそれがない、ということで、第1カッコの中でも第1カッコを使ってもよいのでしょうか？

【A】

カッコの中のカッコは二重カッコで書くことが原則ですので、この場合は二重カッコにします。

9. p106 2. カッコ類 (1)

第1カッコ内にさらにカッコが必要であれば二重カッコを用いる。これらは墨字の()・(())にほぼ対応する、とありますが、墨字原文で()内に(())以外のカッコが用いられている場合は二重カッコにしない方がよいのでしょうか？

【A】

墨字で本来(())はカッコ内のカッコに使われる記号でしたが、パソコン上ではこの形が出てこないことから、カッコ内のカッコに〔 〕や〈 〉など、異なる形の記号が使われることが多くなっています。p109コラム23の用例にありますように、墨字で異なる形であっても、カッコ内のカッコであれば、点字では二重カッコを用いるのが適切です。

10. p106 2. カッコ類

一般の文の中に(笑い)があり、実際に笑っている状況ではなく、心の中の思いを説明しているような時は続けていいのでしょうか。

例：しら一とした冷ややかな空気が流れていく時間は、何とも耐え難いものだ(笑い)。

【A】

(笑い)については、前の語の補足説明というわけではなく、戯曲などでのト書きと同じ用法ですので、一般文章中でも、(笑い)(笑)は前を一マスあけます。

11. p106 2. カッコ類

(笑い) ですが、p169の(2)に「ト書きは第1カッコで囲んで書き、前後ろを一マスあるいは二マスあけて書く」とあります。一般の小説の場合、p106 (3)が判断の基準になるのですが、第1カッコの前を一マスあけるか続けるかで迷います。注釈的説明とそうでない場合を見極める、明確な判断の基準になるものがあるでしょうか。

(事例 著者によるあとがき)

このあとがきを書き始めてから一時間以上。何しているんでしょうかね、私は(笑)
長谷川さんみたいな彼氏。私だったら嫌だなあ(笑)

この作品を読んで少しでも泣いてしまいそうになった人は私と好みが一緒です。
おめでとうございます(笑)

【A】

(笑)は、戯曲や対談に限定せず、ほかの文章中でも、前をあけます。

カッコは、原則として注釈的説明に用いられるものですので、ほとんどの場合、前に続けて書きます。

前をあけるのは、p106 (3)に書かれているように、独語や回想以外は、(略)(中略)(後略)(続く)(終)(了)(完)(株)(社福)(一社)など、編集上の注意書きや略語などです。(笑)(泣)など人物の表情や動作を示す場合も同様になります。
p194 「2. マーク類の書き方」【処理2】にある絵文字・顔文字の(ニコニコ)(プンプン)なども、(笑)と同じであると判断しています。

12. p111 5. 点訳挿入符

見出しに、漢字を説明する点訳挿入符を添えてもよいですか。

【A】

見出しは目次にも掲載しますし、見出しに点訳挿入符で囲んだ説明があると長くなり煩雑になります。見出しのイメージも変わってしまうと思いますので、できるだけ点挿は入れない方がよいと思います。本文を読めば分かる場合は、必要ありませんし、どうしても必要な場合も、見出しが終わった後に行を替えて点挿を入れるなどの工夫をしたらどうでしょうか。

13. p112 5. 点訳挿入符 【備考2】

②③⑤⑥の点が3マス連続する状態で用いることができないために回避する方法が示されていますが、具体的な事例を示していただけないでしょうか。

【A】

(胸部)のようにカッコ内に書かれた語に点訳挿入符で「ムネノ■ブ」と説明を補

う場合、キョーブの直後に入れると、点訳挿入符の閉じ記号と第1カッコの閉じ記号が連続します。このようなときは、いったん（キョーブ）と書いてカッコを閉じた後に、一マスあけて点訳挿入符を開きます。このように、一方の閉じ記号と一方の開き記号が連続する場合は、間をマスあけします。開き記号どうし、閉じ記号どうしが連続する場合に間をマスあけすることはできませんので、点訳挿入符内の文章表現を工夫するなどします。たとえば点訳挿入符内に「(1)は～」などと記載する場合、「イカノ■(1)ワ～」とカッコ前に言葉をつけたり、「～は割合(%)」であることを記載する場合、「～ワ■ワリアイ、■タンイ■外p」とカッコを用いずに書いたり、閉じカッコのあとに句点を付けて点訳挿入符を閉じるなど、点訳挿入符の内側に第1カッコが接しないように工夫します。

その3 線類

1. p113 1. 棒線・点線 【処理2】

点線の後ろに促音が単独で書かれている場合「点線」とことわっていますが、棒線の場合も同じ処理にするのでしょうか？

【A】

棒線も基本的に同じと考えてください。

2. p113 1. 棒線・点線 【処理2】

点線についてしか書かれていませんが、棒線も同様でしょうか。[参考]でも、棒線が加わっています。

実際このような墨字の表現は増えていますが、

「なにしてるんですか、面会時間は……っ、きゃあっ、犬!？」

といった文章では「……っ」の部分に間と驚きが表されていると思うので、「面会時間はっ……」にすることはできないかと。文章によっては、原本通りでいいでしょうか？

【A】

確かに微妙な感じがしますが、点線のあとに促音符だけを書くことはできませんので、この場合、促音符を省略しても、「きゃあっ」で雰囲気伝わるとおもいますから、前の促音符は省略してもよいと思います。

3. p114 1. 棒線・点線 【処理2】[参考]

点線や棒線の後ろに促音が単独で続く場合について、第4版に準拠するとどのようになりますか。

- ①「・・・っ」→「・・・■っ」
- ②「——っ！？」→「——■っ！？」
- ③「っ」→「っ」
- ④「・・・っ——」→「・・・■っ■——」 棒線は入れる
- ⑤「・・・っー」→「・・・■っ」 長音は入れない
- ⑥「・・・って」→「・・・■って」

「っ・・・」「っ——」と 促音を省略した「・・・」「——」とでは、ニュアンスが違ふと思います。確かに発音を書くことは難しいですが、促音を省略して点線・棒線のみにしてしまうと、「言葉に詰まっている様子」「微かな舌打ち」「一瞬の間があつて沈黙」などのニュアンスが伝わらなくなってしまうと思います。点訳者の判断で「っ■・・・」「っ■——」と点訳できないでしょうか。

【A】

ここは、「てびき」編集委員会ですいぶん検討したところです。そして、促音符だけを書くことは、表記上書くことができないだけでなく、触読で促音として読み取れないという委員の意見が強く、現在の参考（p114）の表現になりました。ですから、補う場合は点訳挿入符で補ってください。

4版に準拠すれば、①～⑤は促音符を用いないで書きます。⑥は、上の書き方の通りです。

その4 伏せ字とマーク類

1. p116 1. 伏せ字

「○×△○×□△？」のように、聞き取れない外国語を○や×を用いて表現しているところがありました。この場合、点線に置き換え、文脈から「何かは言っているけど分からない」ということは読み取れますので、とくに点訳挿入符で囲む説明も入れずに処理しようと思っています。ただ、けたたましく何かを言われている場面なのに、点線に置き換えてしまうと黙り込んだ感じで、雰囲気が違うようにも思います。

また、点線以外に、棒線などの記号も使用できるのでしょうか？

【A】

点線以外に棒線を使うことも考えられますが、棒線を使用しても、点線以上の効果はないと思われます。「Q&A第2集」のQ101にもありますように、点線で書いた上で、必要であれば点訳挿入符で原文の意図を補うのがよいと思います。

この本の場合は、前後の文脈でわかるようですので、点訳挿入符は入れないという判断でかまわないと思います。

2. p117 3. ナンバーマーク

「C#」の書き方について質問します。

書名が「なるほどなっとくC#入門」となっています。

「C#」の書き方は、サピエにあるデータを見ると「外大C外ク」と書かれているようです。「外ク」はナンバマークか、ハッシュタグにしかないと思いますが、プログラミング言語であれば、そういう使い方もできるということでしょうか？

【A】

おっしゃるとおり、「外ク」は、ナンバーマーまたはハッシュタグに用いる記号ですので、「C#」にそのまま用いることは適切ではないと思います。

一般書では、読みの通りに「外大C■シャープ」と書くのがよいと思います。ただ、#が、音楽記号のシャープではなく、形の上ではナンバーマークが用いられているので、この表現が頻繁に出てくる専門書などでは、「C#」の読みが「シーシャープ」であることを一度書いた上で、点訳書凡例などで断って「外大C外ク」と書く方法もあると思います。

シャープ（#）がキーボード上に対応するキーがないことなどの理由で、#を用いたという理由もあるようですので、プログラミングの専門書などでは、断った上で、簡略に表す方法もあると思います。

その5 その他の記号類

1. p123 3. 文中注記符

原文の注記が*や※ではなく、(1)(2)や1. 2. …のように書いてある場合は、どのように点訳すればいいのでしょうか

【A】

墨字では「てびき」p124の例のように「* 1」の形や、(注1)(1)など様々な形が見受けられますが、原本でどのように書かれているかに関わらず、語や文をマークしておいて後で説明を記載する方式で処理する場合に、点字では文中注記符を用います。なお、原文で(注1)のようにカッコに囲まれているからといって、文中注記符をカッコに囲む必要はありません。文中注記符だけを書きます。

文中注記符を用いる場合は、注の説明を書く箇所でも、墨字原本の書き方に関わらず、文中に用いた文中注記符を冒頭に記載して、対応を明らかにします。「てびき」p124の例でも、墨字原文では冒頭に「注1」とありますが、点訳例では数字をはさんだ文中注記符になっています。

2. p128 6. スラッシュ 「コラム25」

on/off はそれぞれ外国語引用符で囲って間をマスあけとしていますが、全体を外国語引用符で囲って英語点字のスラッシュを使うのは間違いでしょうか

【A】

間違いではありませんが、英語のスラッシュは、読み慣れていない方も多いため、「てびき」に書かれている方法が、一般書の処理としてはもっとも分かりやすいと思います。

その6 記号が連続する場合の注意

1. p131 1. 記号間の優先順位

見出しの後ろに点訳挿入符で((ツヅキ))と入れる際、見出しに句点や感嘆符がつく場合は、点訳挿入符の前二マスあけるのでしょうか。

【A】

この場合、記号間の優先順位に従いますので、句点や感嘆符・疑問符の後は二マスあけて点訳挿入符を書きます。

2. p131 1. 記号間の優先順位

前後を棒線で囲んだ文章についてお尋ねします。

— 福島では校庭を使わないことになったそうです。茨城では大丈夫ですか？—

— 子供の感受性は大人の三～四倍高いといった新聞記事を見ました。乳幼児はさらに気をつけないといけないそうです。子を持つ親としてとても心配です。—

これらの後ろの棒線は、疑問符や句点のあと二マスあけると考えてよいのでしょうか。

【A】

「表記法2018年版」では、第4章、第5節、「1. 表記符号間のマスあけ規則の優先順位」に【注意】があり、「文末の句点・疑問符・感嘆符の後ろに棒線、矢印類、カッコ類または点訳挿入符の開き符号が来るときは、文脈により一マスあけも選択できる。」(p85)とありますが、「てびき」のp131「記号間の優先順位」にはそれに該当する【備考】や【処理】を載せていません。

「てびき」では、「表記法」の【注意】の「できる」を採用するのは、p132【備考】、p198【処理2】、p201【処理3】の場合と判断し、それぞれの所に記載しました。ですからこの3つの場合以外は、記号間の優先順位に従います。この場合後ろの棒線は、疑問符や句点のあと二マスあけて書きます。

3. p131 1. 記号間の優先順位

思いは「カタチ」にできる。(水王舎)

上記のように図書のタイトルに句点があり、その後ろのカッコに出版社名が書いてあります。この場合、これを句点として2マスあけるのか、タイトルについている記号のようなものと捉えてマスあけなしとなるのか、どちらがよいのでしょうか。

【A】

この場合は、タイトルに含まれてはいますが、明らかに句点ですので、後ろを2マスあけます。

4. p135 3. 囲みの記号が他の記号と連続する場合 【備考】

【備考】に第1カギの閉じ記号の後ろに促音符が続く場合はそのまま書いてよいことが示されていますが、

「ぱくッと食べる」の「ッ」がいかにも美味しそうだ。
という文章の「ッ」は、カギの中に②の点のみで表して問題ないでしょうか。

【A】

②の点で表して指示符の閉じ符号と同じ形になっても、文が続いていればよいのですが、単独の促音の場合は読み取りにくいので、「ソクオン」と書くか、または「チイサイ■ツ」のように言葉で書いた方がよいように思います。

その7 体系の異なる点字表記

1. p136 1. 英語

写真のキャプションの英文で、「／」をどうするか迷っています。

Niu Xiaolei/Ladov/PA Images とあります。写真の提供・撮影場所と思いますが、この場合全てを外国語引用符で囲み、「／」をそのまま入れるか、それぞれを外国語引用符で囲み「／」の部分はマスあけをするのでしょうか。

【A】

写真に付いているのでしたら、このまま、全体を外国語引用符で囲み、スラッシュを用いる方が、誤解がないと思います。

2. p136 1. 英語

参考文献の中で、巻数やページなどを省略して書いてあることがあります。

例：Vol. 16. No. 2. pp. 171-179.

原文でVol. やNo. やpp. の後、スペースがある場合、ない場合のマスあけについて教えてください。

【A】

英語の参考文献の場合は英語点訳のルールに従うことになります。『UEBベーシックマスター』の数字の書き方などをお読みいただき、用例を参考にして点訳するようにしてください。マスあけは「基本的に」原文の通りになります。

3. p136 1. 英語

「てびき」138ページの参考に、「8cm」と続いていれば一続きに、「8 cm」とあいていけば、一マスあける例が示されています。これは、数字とアルファベットが逆でも適用されますか？

139ページの用例にある section 2 は原文が開いているから section■2、section2 と詰まっていたら、続けるのでしょうか？

英文のマスアケは、原則、原文のまま、ということで考えていいのでしょうか？

Lesson1 case1 などなど数字までを外国語引用符で括るときは、マスアケすることが多いような気がしていましたが、原文通りと指摘されると、続けるのかな、と思っているところです。

また、あいているような、あいていないような、というときはマスアケする方が優先でしょうか？

【A】

英語点字表記では、墨字通りのマスあけが原則ですので、英語の点訳では、ほとんど墨字通りに点訳します。それは墨字が英語表記の原則に従って書かれているという前提の上での規則です。単語ごとにスペースをあけて書く、略称や単位、記号なども英語表記のルールで書かれていることが前提になっていると思います。

アルファベットと数字の一例として、ページは「p29 p. 29 p. 29」など、いずれの書き方もありますので、点訳するときは、墨字の通りに「p 数29 p. 数29 p. ■数29」と書きます。

英語は半角で書かれているので、スペースがあるのかどうか迷う場合も多いです。よく見て判断するか、その表記の原則に従った書き方の方を選ぶしかないと思います。

英語の本を点訳する場合や、文や段落単位で英語が挿入されている場合は、上記のように書きますが、日本語の文の中に、「Lesson1」や「case1」など、アルファベットの単語が挿入されているような場合、それに上記のルールを必ず当てはめて点訳しなければならないとまでは言えないと思います。

とくに、日本語の中にアルファベットの単語を挿入する場合、アクセント的に用いられることも多いので、そのような場合は、単語でマスあけをするという原則で「引大Lesson■数1引」と点訳する方がいいと思います。

4. p136 1. 英語

英文中のスラッシュの前後ろのマスあけについてお尋ねします。アメリカの2008年規則改正で、スラッシュ記号の変更とともに、スラッシュの前後ろをマスあけするかどうかは墨字に合わせるようになったとのことですが、原文でスラッシュの前後ろにスペースがあれば、スラッシュの前後ろをマスあけして書くと理解してよろしいでしょうか。

【A】

英語点字のスラッシュは「④⑤⑥の点 + ヤ」の記号で、原文で前後があいていれば、一マスあけて書きます。原文で前後があいていない場合でも、マスあけを含む語句がスラッシュで区切られている場合は、誤解のないように一マスあけた方がよいようです。

ただし試験問題で、語句の選択や並べ替えの所に斜線が使われているときは、『試験問題の点字表記 第2版』1部2章2節12. に従い、斜線をコンマ（②の点）で書きます。前の語に続けてコンマを書き、コンマの後ろは一マスあけて次の語句を書きます。詳しくは、『試験問題の点字表記 第2版』を参照してください。

5. p138 1. 英語 【備考】

一般の本で、1カ所ハングルが出てきました。ハングルは点字ユーザーの方になじみがあるとは思えないので、ルビ扱いとして、ハングルに相当する点字を書いてから第1カッコをつけて意味を書いてよろしいでしょうか。『韓国語点訳のてびき 2012年版』をもとに、ハングルを書き表すことはできます。

【A】

ハングルを点字で書き表すことができても、一般書の中では、それを読める方はごくごく一部の方に限られます。その読みがわかれば、読みを仮名で書いて、カッコ内に意味を書くのがよいと思います。1カ所だけでも、点訳書凡例で、「原文にあるハングルは省略して発音を仮名で書いた」ことを断ります。ハングルで書いた場合も、点訳書凡例で断るか、ハングルを書いた後に、点訳挿入符でハングル表記であることを断る必要があります。「てびき」p138【備考】を参照してください。

6. p138 1. 英語 【備考】

ロシア語・アラビア語・韓国語などについて、原文表記で点訳するか、発音を調査して仮名で書き表すとのことですが、原文中に訳があれば点訳書凡例で断って、原文の表記は省略してよろしいでしょうか？

【A】

訳が付いていて、文脈上支障なければ省略していいと思います。

7. p140 2. ホームページやEメールアドレス

アドレス中に数字が多数連続していて、数字の途中で行を変えざるを得ない場合、どのような処理をすればよいのでしょうか。行末つなぎ符は数式符号であるため使用ができないのでしょうか。行継続符の次に数符は用いず数字を書いても構いませんか。アルファベットとの混同はされないのでしょうか。

【A】

規則上は、「行継続符は状態に影響を及ぼさないので、行が移っても前の行の状態は変わらない」ので、数字の途中で次行に移り、次行行頭に行継続符を書いたあとは、数符を書かずに数字の途中から書くことになります。しかし、次行に移ったときに、本当に数字の続きとして読めるのかと心配になるのも分かります。

そこで、日点委の専門委員の方に照会したところ、「規則上は数符を書かなくてよいのだが、そこに数符を書いても弊害はないので、数字があまりにも続いて誤読されないか心配な場合は、次行の行継続符の次に数符を再び書くという配慮をしてもよい」という複数の方のご意見をいただきました。

あくまでも読みやすさへの配慮として、数字があまりにも長くて、どうしても数字の途中で行移しをしなければならないような場合は、次行の行継続符の後ろに数符を書いてもよいでしょう。

8. p140 2. ホームページやEメールアドレス

情報処理点字記号についてお尋ねします。

「てびき4版」には、「ホームページやEメールのアドレスを書く場合は、情報処理点字記号を用いて書く。」とありますが、ID やパスワード、アカウント名などはどの様にすればよいのでしょうか。情報処理点字記号を使ってよいのでしょうか。それとも外国語引用符を使うのでしょうか。

今点訳している原本に「かもめ★百合」、「シフォン？ケーキ」というハンドルネームが出てくるのですが、★や？はどのように点訳すればよいのでしょうか。マスあけにしてよいのでしょうか。

【A】

IDやパスワード、アカウント名にも、情報処理だけに用いられる特殊な記号が含まれている場合は、アドレス囲み符号で囲んで書くことができます。

ただ、数字とアルファベットだけのパスワードや仮名・漢字が含まれたアカウント名などは、読みやすい書き方を選んで書いた方がよいと思います。

「かもめ★百合」「シフォン？ケーキ」などのハンドル名は、「カモメ■ユリ」「シフォン■ケーキ」と読みを書いた上で、間に「黒い星印」「疑問符」があることを知らせる必要がある場合は点訳挿入符で説明するのがよいと思います。

9. p145 5. 理科記号

化学式を囲むカッコについて 文中に「～によって、グルコン酸（C2H12O7）に変換されます」という一文があります。「7」は下がり数字「7」になりますので②③⑤⑥が二マス続くことになります。他のカッコに替えても結果は変わりません。グルコン酸の他にもカッコで囲んだ箇所は数か所ありますが問題はありません。この場合、グルコン酸C2H12O7のようにカッコを外すことは可能でしょうか。また、他にどのような対処方法が考えられるでしょうか。

【A】

カッコを外して書くのがよいと思います。化学式には下がり数字が用いられますので、記号類と重なることが多くなります。その場合、誤読のないように、カッコ類や読点などを適宜省略する工夫をした方がよいと思います。

10. p145 5. 理科記号

一般文章中の数式の書き方についてお尋ねします。以下のように数式がカギで囲まれている文章があります。

あなたの方程式「 $E=mc^2$ 」のように膨大なエネルギーを…

この場合、閉じカギの後ろのマスあけについて、

- a. 数式の書き方の原則に従って一マスあけ
- b. 日本語のカギの書き方に従って続けて書く
- c. カギを省略して数式を書く

どの方法で処理すればよいでしょうか。

【A】

c. の方法がよいと思います。この場合のカギは、数式だけを強調していますので、点字では、なくても文脈上誤解をすることはありません。むしろカギがあるために、数式かどうか紛らわしくなり、読みにくくなると思います。

ご質問にある通り、4版から、文章中に数式を書き表す場合の前後のマスあけが、原則として一マスあけ（p141 3. (2)参照）に変更されていますのでご注意ください。